お詫びと訂正

このたびは、日立アドバンストサーバ HA8000/RS440 シリーズ用オプションの RMM ボードをお買い求 めいただき、誠にありがとうございます。

『RMM ボード 取扱説明書』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

■RMM ボード 取扱説明書

 「3. Web コンソールの使用方法」「Web コンソールの機能」「Web コンソールの設定項目」「「Configuration」タ ブ」「「Network」画面」(p22)

⑤ IP Address IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server ブライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Secondary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	#	項目名	説明
⑥ Subnet Mask サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS Server セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 第 項目名 1 第 項目名 1 第 第 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(5)	IP Address	IP アドレスを設定します。
⑦ Default Gateway デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 Server ビカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 * 項目名 説明 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	6	Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。
⑧ Primary DNS Server プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 Server 1P Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	$\overline{\mathcal{O}}$	Default Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。
 Secondary DNS Server Server # 項目名 IP Address *2 IP Address *2 IP Tドレスを設定します。 Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 	8	Primary DNS Server	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
Server # 項目名 説明 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Secondary DNS プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	9	Secondary DNS	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
# 項目名 説明 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。		Server	
# 項目名 説明 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。			
# 項目名 説明 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。			
# 項目名 説明 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。			
# 項目名 説明 ⑤ IP Address *2 IP アドレスを設定します。 ⑥ Subnet Mask *2 サブネットマスクを設定します。 ⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。			
#項目名説明⑤IP Address *2IP アドレスを設定します。⑥Subnet Mask *2サブネットマスクを設定します。⑦Default Gateway *2デフォルトゲートウェイを設定します。⑧Primary DNS Server *3プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。⑨Secondary DNSセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。Server *3ジョングリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。			
⑤IP Address *2IP アドレスを設定します。⑥Subnet Mask *2サブネットマスクを設定します。⑦Default Gateway *2デフォルトゲートウェイを設定します。⑧Primary DNS Server *3ブライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。⑨Secondary DNSセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。Server *3	#	項目名	説明
⑥Subnet Mask *2サブネットマスクを設定します。⑦Default Gateway *2デフォルトゲートウェイを設定します。⑧Primary DNS Server *3プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。⑨Secondary DNSセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。Server *3Primary DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	(5)	IP Address *2	IP アドレスを設定します。
⑦ Default Gateway *2 デフォルトゲートウェイを設定します。 ⑧ Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	6	Subnet Mask *2	サブネットマスクを設定します。
 ⑧ Primary DNS Server *3 プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 ⑨ Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 Server *3 	\bigcirc	Default Gateway *2	デフォルトゲートウェイを設定します。
 9 Secondary DNS セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 Server *3 	8	Primary DNS Server *3	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
Server *3	9	Secondary DNS	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
		Server *3	
	<u> </u>		
	*2 本	機能はサポートしていない	いため、設定を行わないでください。設定を行う場合は、
*2 本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。設定を行う場合に	BIOS	操作(セットアップメ	ニュー上の「Server Management」タブ「BMC LA
*2 <u>本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。</u> 設定を行う場合は BIOS 操作(セットアップメニュー上の「Server Management」タブ「BMC L	Confi	guration」項目下の操作	、、、、、、、、、
*2 <u>本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。</u> 設定を行う場合に BIOS 操作(セットアップメニュー上の「Server Management」タブ「BMC L Configuration」項目下の操作)での実施をお願い致します。	•••••	garadong sed i os kir)	
*2 <u>本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。</u> 設定を行う場合は BIOS 操作(セットアップメニュートの「Server Management」をブ「BMC L	Confi	guration」項目下の操作)での実施をお願い致します。
*2 <u>本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。</u> 設定を行う場合に BIOS 操作(セットアップメニュー上の「Server Management」タブ「BMC L Configuration」項目下の操作)での実施をお願い致します。			
*2 <u>本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。</u> 設定を行う場合に BIOS 操作(セットアップメニュー上の「Server Management」タブ「BMC L Configuration」項目下の操作)での実施をお願い致します。			
*2 <u>本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。</u> 設定を行う場合に BIOS 操作(セットアップメニュー上の「Server Management」タブ「BMC L Configuration」項目下の操作)での実施をお願い致します。 *3 入力形式は xxx.xxx.xxx です。各セグメントの入力範囲は 0-255 ですが、第−	*3 入	カ形式は xxx.xxx.xxx.xx	x です。各セグメントの入力範囲は 0-255 ですが、第一1
*2 <u>本機能はサポートしていないため、設定を行わないでください。</u> 設定を行う場合に BIOS 操作(セットアップメニュー上の「Server Management」タブ「BMC L Configuration」項目下の操作)での実施をお願い致します。 *3 入力形式は xxx.xxx.xxx です。各セグメントの入力範囲は 0-255 ですが、第一 グメントの xxx には 0 を入力できません。	*3 入: グメン	カ形式は xxx.xxx.xxx.xx /トの xxx には 0 を入力で	x です。各セグメントの入力範囲は 0-255 ですが、第一1 できません。

「3. Web コンソールの使用方法」「Web コンソールの機能」「Web コンソールの設定項目」「「Configuration」タブ」「「Users」画面」(p23)

誤			
	#	項目名	説明
	6	[Add User] ボタン	「Add User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されていない行を選 択するとボタンが有効になります。 →「「Add User」画面」P.24
	Ø	[Modify User] ボタン	「Modify User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されている行を選択 するとボタンが有効になります。 →「「Modify User」画面」P.25
	8	[Delete User] ボタン	選択したユーザーアカウントを削除します。
E		百日夕	=+ 09
	#	現日石	記切り
	6	[Add User] ボタン *1	「Add User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されていない行を選 択するとボタンが有効になります。 →「「Add User」画面」P.24
	6	[Add User] ボタン *1 [Modify User] ボタン *1	「Add User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されていない行を選 択するとボタンが有効になります。 →「「Add User」画面」P.24 「Modify User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されている行を選択 するとボタンが有効になります。 →「「Modify User」画面」P.25
	6 7 8	[Add User] ボタン *1 [Modify User] ボタン *1 [Delete User] ボタン *1	「Add User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されていない行を選 択するとボタンが有効になります。 →「「Add User」画面」P.24 「Modify User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されている行を選択 するとボタンが有効になります。 →「「Modify User」画面」P.25 選択したユーザーアカウントを削除します。
	⑥ ⑦ ⑧ *1 BIC 「Use ます。	[Add User] ボタン *1 [Modify User] ボタン *1 [Delete User] ボタン *1 OS セットアップの「Server M or configuration」項目下から	「Add User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されていない行を選 択するとボタンが有効になります。 →「「Add User」画面」P.24 「Modify User」画面を表示します。 ユーザーアカウントが表示されている行を選択 するとボタンが有効になります。 →「「Modify User」画面」P.25 選択したユーザーアカウントを削除します。 anagement」タブ「BMC LAN Configuration」項 も、UserID 1~5のアカウントを設定することがで

『Java Runtime Environmentに関する注意事項』

このたびは、RMMボード(GQ-CW7440xx)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品を使用するにあたり、システムコンソール端末にJava Runtime Environment(以下、JRE)を導入する際の注意事項について以下に記載します。

システムコンソール端末に JRE 7 update25(1.7.0_25) ~ update45(1.7.0_45) のいずれかを導入し JRE の有効期限を過ぎている場合、または JRE 7 update51 (1.7.0_51) 以降のバージョンを導入する場合、リモートコンソールの起動時に <u>
ダイアログが表示され、アプリケーションが起動できない場合があります</u>。これは JRE のバージョンアップに伴い、セキュリティポリシーが変更されたことにより発 生するものです。

上記事象を回避するため、以下のいずれかの回避方法により運用いただけますよう、 お願いいたします。

回避方法1

JRE7 update25 より前のバージョンを導入する場合は、リモートコンソールの起動 が可能です。JRE 7 update25 以降のバージョンを導入している場合は、現在導入さ れているバージョンをアンインストールし、JRE 7 update25 より前のバージョンを 導入してください。

回避方法 2

JRE7 update51 以降のバージョンを導入し、下記設定を行ってください。

- (1) Windows メニューまたはコントロールパネルから「Java コントロール・パネル」 を起動してください。
- (2)「セキュリティ」タブの「サイト・リストの編集(S)」を押下してください。
- (3)「例外サイト・リスト」のウィンドウが表示されるため、「追加(A)」を押下し、 対象のマネジメントインタフェースの URL (*1)を入力した後、「OK」を押下して ください。
- (4)「Java コントロール・パネル」のウィンドウ内の「例外サイト・リスト」の項目に、(3)で入力した URL が表示されていることを確認し、「OK」を押下してください。

上記設定を行った場合でも、リモートコンソールの起動時にセキュリティ警告が表示されます。セキュリティ警告が表示された状態で「実行(<u>R</u>)」を押下してください(*2)。

*1 URL は SSL/TLS 通信の使用有無に係わらず"https://~"で入力してください (例) https://192.168.0.2

*2 「リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します。(I)」のチェックボックスが表示される場合は、同項目にチェックをいれてください

以上により、リモートコンソールを正常に使用することができます。